世界史プリント(2-1)

生徒番号(

)氏名

3. ローマ世界 b. ローマの発展と内乱

ポエ二戦争をはじめとする戦争は、共和政ローマを支えていた平民層を解体させていった。これにたいし、前2世紀後期、[1 グラックス]兄弟は土地を再分配し市民再建を図ろうとしたが失敗、以後前1世紀後半までの[2 内乱の一世紀]とよばれる混乱時代へ突入した。

ローマでは、スパルタカスの乱など[3 **奴隷**]反乱が相次ぎ、地中海での[4 **海賊**]の活動が活発化、イタリア半島の自由民が[5 **同盟市**]戦争を起こすなど危機的な状態が続いた。またスラら[6 **脚族**]派と「7 **マリウス**]らの平民派の間の指導者間の抗争がつづいた。

- ③前2世紀後期 [8 **グラックス**] 兄弟の改革失敗=[9 **内乱の一世紀**]へ →無産市民への土地再分配=市民再建を図る
- ④内乱の1世紀(前2世紀後期~前1世紀後期)
- ア)奴隷反乱…[10 **スパルタクス**]の反乱(前 73 ~前 71)
- イ)同盟市戦争→イタリア半島の自由民の抵抗→同盟市市民に[11 市民]権を与える。
- ウ)指導者間の抗争…閥族派(スラら)VS 平民派(マリウスら)
- 工)東地中海での海賊の活動活発化

こうした混乱の中、平民派の流れをくむ **カエサル**は、閥族派の[12 ポンペイウス]、大富豪の[13 クラッスス]とともに元老院と対抗して第一次[14 三頭]政治をすすめた。しかしポンペイウスが元老院と結ぶと、カエサルはローマに攻め込み独裁権を獲得した。

前 44 年、彼が元老院勢力に暗殺されると、彼の部将らによる第二次[15 **三頭**]政治がすすめられたが、次第に対立が発生、前[16 **31**]年カエサルの養子[17 **オクタヴィアヌス**]が、エジプトの女王[18 **クレオパトラ**]と結んだ[19 **アントニウス**]を[20 **アクティウム**]の海戦で破り、ローマの地中海支配を確実なものとし、この混乱を収拾した。

この戦いに勝利した[21 *オクタヴィアヌス*]はほぼすべての対抗勢力を抑えことに成功、前 27 年には[22 *皇帝*]の地位を得て、[23 *ローマ帝国*](帝政ローマ)が始まることになる。

第1次[24 三頭]政治(前 60 ~前 50)→共同して元老院勢力と対決

三頭政治…カエサル(平民派)、ポンペイウス(閥族派)→元老院派と結ぶ、クラッスス(大富豪)→戦死

[25 **カエサル**]の独裁(前 49 ~前 44)→元老院勢力により暗殺される

ユリウス=カエサル…前1世紀のローマの政治家。マリウスのあとの[26 **平民**]派の中心人物。元老院と対抗し、ポンペイウスらと[27 **三頭**]政治に参加、[28 **ガリア**]からブリタニアに遠征、のちポンペイウスを追って独裁者となったが、前 44 年、彼の養子と伝えられる[29 **ブルートゥス**]ら元老院派に暗殺された。著書の[30 **ガリア戦記**]は記録文学として有名。また[31 **エジプト**]の暦をもとにユリウス暦を制定した。

第2次三頭政治…[32 **オクタヴィアヌス**]、[33 **アントニウス**]、 レピドゥス

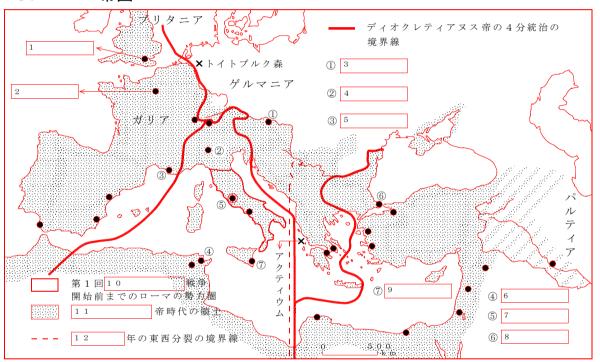
カエサルの養子

カエサルの部将

[34 *アクティウム*]の海戦(前[35 **31**]年)→[36 **オクタヴィアヌス**]の圧倒的な支配権が確立 →[37 ローマ帝国]成立(前27)へ

アクティウムの海戦…前[38 **31**]年オクタヴィアヌスが、ローマの部将アントニウスと[39 **プトレマイオ ス朝エジプト**]の女王クレオパトラの連合軍を敗った戦い。この結果、約 300 年続いた[40 ヘレニズム] 時代は終了し、ローマの全地中海支配が完成した。この結果、[41 **オクタヴィアヌス**]の皇帝就任(ローマ帝国(帝政ローマ)成立という方向が確定することになった。

c. ローマ帝国



ローマ帝国の最大領域